

世界の印刷博物館に関する調査研究（第2報）

- 印刷文化の発展の軌跡 -

国際印刷大学校(*1) 学長
工学博士 木下堯博 (*2)

講演要旨

1998年（平成10年）8月に刊行された長崎印刷組合史に同じ主テーマで「世界の印刷博物館に関する研究」と題し中国印刷博物館（北京）、韓国清州古印刷博物館（清州）、ドイツゲーテンベルグ博物館（マインツ）、国際新聞博物館（アーヘン）、ベルギープランタンモレタス博物館（アントワープ）、アルバート一世王立博物館（ブラッセル）などと日本では天草コレジョ館（熊本）、ド・ロ神父記念館（長崎）、新聞博物館（熊本）、尚古集成館（鹿児島）の博物館展示内容及び運営などをまとめた。また、1995年（平成7年）9月2日、本木昌造120回忌には長崎東亜閣で印刷博物館の設立に関し、14名の参加者により記念座談会があった。その後、日本では2000年に印刷博物館（東京）、1999年に新聞博物館（横浜）の設立、印刷文化面では世界とレベルでの研究が出来るようになった。

2000年（平成12年）のドルバ展ではマインツ市を中心にゲーテンベルグ生誕600年祭が開催された。同市では約1年間にわたり各種ゲーテンベルグに関するイベントが繰り広げられた。更に、ライプツヒの印刷博物館（ドイツ）などとの交流を行なった。

IPEX2002では大英博物館 Reading Room、セントブライド印刷博物館・図書館、アルパート博物館（ロンドン）などとの交流の他、世宗博物館、三省出版博物館（ソウル）などで活字印刷、木版印刷、ヨーロッパと東洋の活版印刷などの意見交換を行い、印刷文化遺産の保存・データベース化についての研究を行なって来た。その概要を「世界の印刷博物館に関する研究」(第2報)とし、約107枚のスライド(Power Point)*3などで講演した。

（長崎県印刷工業組合、2003年5月23日、佐世保シティーホテル）

(*1) 国際印刷大学校事務局; <http://www.media-line.or.jp/igu>

〒189-0002 東京都東村山市青葉町2-29-12

TEL 042-395-5561

FAX 042-392-8216 E-Mail;kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp

(*2) <http://www.media-line.or.jp/kinoshita>

(*3) 長崎県印刷工業組合で保存